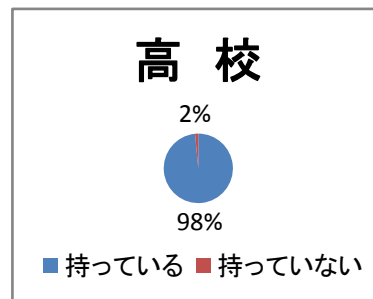
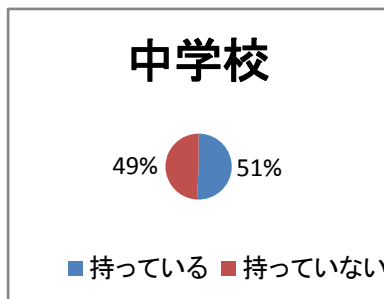
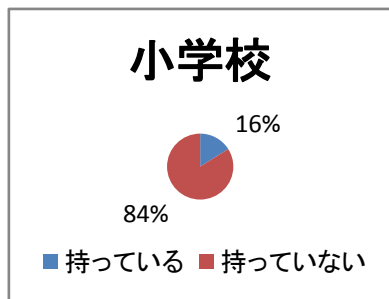


【設問1】あなたは自分専用の携帯電話を持っていますか？

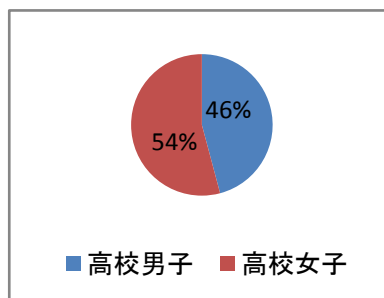
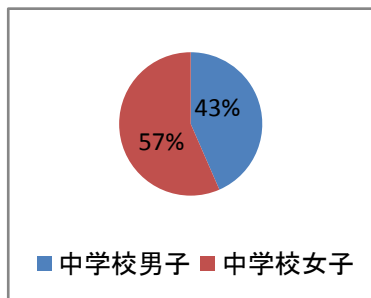
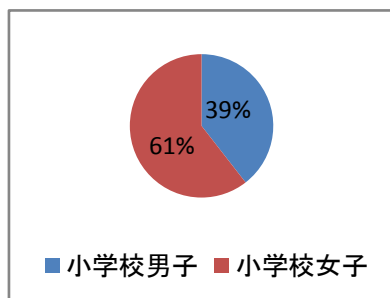


<分析および考察>

・県教委の過去の調査(2002年実施)によると、所持率は小学5年生で7.1%(5、6年生全体では8.2%)、中学2年生で29.8%(全体では29.8%)、高校2年生で92.9%(全体では92.7%)であった。今回の調査結果では、所持率は小学5年生で16.1%、中学2年生で50.7%、高校2年生で98.5%であった。子どもたちの生活の中での携帯電話の普及が進んでいると考えられる。また、内閣府がまとめた平成19年2月の「低年齢少年の生活と意識に関する調査報告書」では、小学生の所持率が14.8%、中学生では51.7%となっており、似た結果を示した。高校生での伸び率は緩やかであるが、小・中学生での伸び率は1、7~2倍程度である。比較的早い時期から携帯を所有する傾向が進んでいると考えられる。こうした所持率の増加の背景には、インターネットや各種通信機器の発達によるコミュニケーションツールとして普及の広がりや、社会の不安定要因などへの対策として活用が広がったなどの理由があると考えられる。

今回の調査は、守山市および野洲市の小学校・中学校・高校を各1校ずつ抽出し、小学校においては5年生とその保護者、中学校においては2年生とその保護者、高校においては、2年生を対象に実施した。尚、回答率は小学校児童94.4%、保護者83.8%・中学校生徒93.7%、保護者86.7%・高校生徒88.7%(ただし、児童・生徒の回答率は在籍数に対する割合である)

◇男女別所持割合



◇男女別所持率

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子	高校男子	高校女子
持っている	15	23	73	95	149	176
持っていない	112	86	106	57	2	3
所持率	11.8%	21.1%	40.8%	62.5%	98.7%	98.3%

<分析および考察>

・男女別所持率は、小学5年生男子は11.8%、小学5年生女子は21.1%、中学2年生男子は40.8%、中学2年生女子は62.5%、高校2年生男子は98.7%、高校2年生女子は98.3%となっている。県教委の調査では、小学生男子(5、6年生)は5.8%、小学生女子は10.8%、中学生男子(全体)は23.0%、中学生女子は36.8%、高校生男子(全体)は89.2%、高校生女子は96.1%であった。特に小・中学生女子の所持率が高くなっているが、社会的弱者(女性や子どもなど)が被害者になるトラブルや事件の増加に伴い、防犯対策や居場所確認の連絡用としての利用が高まっていると考えられる。